



支援団体名 熊本工務店ネットワーク
 熊本県建築士会・くまもと復興の家グループ
 五木源住宅復興支援チーム

役職・氏名 テクノ仮設団地モデル住宅3棟担当者



ご来場お待ちしております(左から四ツ村さん、丹伊田さん、上村さん)。

Interview

□一般社団法人 熊本工務店ネットワーク(KKN) 事務局長 四ツ村 周二さん

KKNは、5年前に県内の工務店68社で構成された団体です。震災後、木造の仮設住宅を提案・提供したことがきっかけで、県からモデル住宅建設の話があり、法人加入の工務店のうち38社で復興住宅建設に取り組んでいます。平成28年12月にオープンしたモデル住宅は、耐震等級3、県産材を使い、県内の工務店の職人で建てるのももちろん、温度のバリアフリー化(家の中の温度差を少なくする)や、通気性の高いクロスや珪藻土を使用したボードなどの呼吸する壁がアピールポイントです。

モデル住宅は本体価格1,100万円(税別)ですが、成約済みの方の税・付帯設備費込みでの価格は約1,400万円から1,600万円ほどです。家を建てることは決して安い買い物ではありません。お客様に選んでいただくことをモットーに、皆様に喜ばれる「希望の家」を建築します。

□熊本県建築士会・くまもと復興の家グループ 丹伊田 正さん

県内の建築士が任意で参加している建築士会・くまもと復興の家グループでは、建築士が個別のご相談に応じ、意思を確認した後、グループ内の工務店をご紹介します。建築士・工務店との面談で図面を基に仕様を確認し、見積書をお出ししています。平成29年1月に当モデル住宅が完成し、当初は休憩が取れないほど来場がありました。今年10月は57組が来場。今までに45件ご契約い

ただき、30件の引き渡しを完了しています。

モデル住宅は2LDK、19.3坪で、土間形式ですが、土間の部分を洗面所に変えた提案プランが主流です。PRポイントは断熱性能と気密性。価格は、照明や給湯器などを設置し、すぐ住める状態で1,400万円程度(税込、建築条件による)です。

ご相談から契約までは3か月ほどの期間が必要になります。できる限り綿密に打ち合わせをして、納得できる家を建てていただきたいと思います。

□五木源住宅復興支援チーム 上村 清敏さん

当チームは、強制乾燥させた木材には無い、木の艶と香りが残る五木村の葉枯らし天然乾燥材を使用しています。

平成29年3月に2階建て、3LDK、20坪(+屋根裏収納)のモデル住宅が完成しました。今年の6月から8月までは来場者が減っていましたが、10月に入ってまた増えています。設計は、土台と骨組みにこだわっています。2階への通し柱も通常は角に4本ですが、この住宅は12本使っており、耐震等級3にプラスアルファを付加、地震の揺れを緩和する仕掛けとなっています。

一般的に住宅は25年程度で建て替えられていますが、この家は3世代90年以上持つ仕様です。価格は、仕様で変わりますが、多くの方が1,500万円~1,800万円(税別)で建てられています。せっかく家を建てられるのであれば、丈夫なものをコンパクトに！とお話ししています。消費税が上がりますが、慌てず後世にいいものを残すことを考えていただきたいと思います。

インタビュー

【くまもと型復興住宅】地震に強く(耐震等級3程度)、県産材を使用した良質でコスト低減に配慮した熊本の工務店等の施工による木造住宅です。

【テクノ仮設団地モデル住宅3棟】県の公募により採択され、平成28年度にテクノ仮設団地内に建設された3棟のくまもと型復興住宅のモデル住宅です。それぞれが独特なコンセプトを持って建てられており、被災者の住宅再建を支援するため、日々モデル住宅の見学や相談に応じています(営業時間等は熊本県のホームページで)。